

平成29年 労働者死傷病報告受理件数表

平成29年3月末現在
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製造業		19	46	5	1 40	8	7		1 125	1 163	-38
食料品製造業		5	16		7	4	3		35	44	-9
鉱業			1						1		1
建設業		9	8	6	7	5	2	2	39	39	-1
木造家屋等建築工事		1	2	3					6	8	-2
交通運輸・貨物取扱業		10	1 18	3	10		2	1	1 44	1 60	-16
道路貨物運送業		7	1 15	3	10		2	1	1 38	1 49	-11
林業		1 2		2			1	1	1 6	3	1 3
上記以外の事業		39	50	7	18	11	1 3	5	1 133	1 (1) 211	(-1) -78
卸売業・小売業		15	14	3	5	4	2		43	74	-31
通信業		4	2	1	1	1		1	10	19	-9
医療保健業・ 社会福祉施設		3	10	1	2				16	38	-22
旅館・ホテル業		1	1			1			3	6	-3
計		1 79	1 123	23	1 75	24	1 15	9	4 348	4 (1) 476	(-1) -128
前年同期		104	3 (1) 195	31	1 93	21	22	10	4 (1) 476		
増減		1 -25	-2 -72	-1 -8	-18 -18	3	1 -7	-1	-128	(-1)	

災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
転倒災害	17	32	10	14	10	3	3	89	213	-124
食料品加工用機械災害	3	2						5	5	
建設機械災害	1	2		4				7	6	1
クレーン・玉掛災害	2	2		4				8	11	-3
外国人の災害	2	6	1	7				16	8	8
公共工事の災害	2			2	3		1	8	12	-4
交通労働災害	9	1 11	1	1 4	1	1	1	2 28	28	2
荷主先災害	2	8	2	3		2	1	18	24	-6

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。
 4 各項目の（ ）内は、脳・心臓疾患、精神疾患の死亡者数で内数です。

平成29年 死亡災害発生状況

平成29年3月末現在
群馬労働局

業種 \ 年	27年	28年	29年	対27年比	対28年比
製造業	1 ()	1 ()	1 ()	()	()
鉱業	()	()	()	()	()
建設業	1 ()	1 ()	()	-1 ()	-1 ()
運輸交通業	()	1 ()	1 ()	1 ()	()
貨物取扱業	()	()	()	()	()
林業	()	()	1 ()	1 ()	1 ()
その他	1 (1)	1 (1)	1 ()	(-1)	(-1)
計	3 (1)	4 (1)	4 ()	1 (-1)	(-1)

※ () の件数は、脳・心臓疾患，精神障害を内数で表す。

平成29年死亡災害事例（建設業以外）

（脳・心臓疾患、精神障害を除く）

平成29年3月末現在
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 労働者数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別	署別
1	1月 11時頃 4人	60歳代 男 作業員	太陽光発電設備設置のための造成工事現場において、立木の伐採作業に従事していた被災者が、胸高約30cmの伐倒木の下敷きになっているのを発見された。	その他の林業	崩壊・倒壊	立木等	高崎
2	1月 15時頃 4人	50歳代 男 運転手	軽四貨物トラックを運転していた被災者が、対向車線のセンターラインオーバーの大型トラックと正面衝突した。	一般貨物運送業	交通事故（道路）	トラック	前橋
3	2月 9時頃 28人	40歳代 男 修理工	自動販売機の修理のため、社用車のバンを運転し首都高速を走行中、前のトラックに視界を遮られ右側に車線変更したところ、すぐ右横にトラックが故障で停止しており、そのまま激突した。	機械修理業	交通事故（道路）	トラック	太田
4	2月 8時頃 28人	60歳代 男 作業員	午前7時頃からゴルフ場内の落葉の処理のため、トラクターを使用して作業を行っていたが、トラクターがコース法面の置かれ、行方が分からなくなり、周辺を捜していたところ、翌日池の中から遺体で発見された。	ゴルフ場	おぼれ	水	藤岡